



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年10月22日

上場会社名 株式会社エイアンドティー 上場取引所 東
 コード番号 6722 URL <http://www.aandt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三坂 成隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 新国 泰正 TEL 045-440-5810
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	7,080	14.4	772	90.9	756	95.2	490	91.1
26年12月期第3四半期	6,190	3.2	404	85.2	387	97.1	256	82.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	78.31	—
26年12月期第3四半期	40.98	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	9,295	5,369	57.8	858.20
26年12月期	9,708	4,972	51.2	794.77

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 5,369百万円 26年12月期 4,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	16.00	16.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期（予想）	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	4.5	1,120	30.8	1,100	32.2	700	53.7	111.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	6,257,900株	26年12月期	6,257,900株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	1,091株	26年12月期	1,051株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	6,256,813株	26年12月期3Q	6,256,849株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、政府・日銀の経済対策及び金融政策の推進等により、雇用情勢の改善、設備投資の回復、賃上げによる所得の増加等、景気は緩やかな回復傾向を継続しております。一方で、中国をはじめとする新興国経済の減速等により、海外景気の下振れ懸念が高まり、景気の先行きは不透明な状況となっております。

国内の医療業界におきましては、医療費抑制が喫緊の政策課題となっており、医療保険制度の安定化と継続可能性を確保するため、医療保険制度改革法が成立いたしました。

このような事業環境のもと、当社は国内・海外における既存顧客の更新需要の取り込み、新規顧客の獲得に注力してまいりました。また、製品の保守・サービス体制の強化、製造現場の工程改善、業務委託の削減、内製化の推進等により、利益率の改善に努めてまいりました。設備投資につきましては、検体検査自動化システムの案件増加を見込み、江刺工場の敷地近くに倉庫スペース（926.77㎡）を追加賃借いたしました。研究開発につきましては、検体検査装置における全自動糖分析装置の後継機種「GA06」、中小規模病院へ導入可能な検体検査自動化システムの新製品「CLINILOG STraS」、海外仕様に対応できる分析前工程モジュールMPAMの改良品「MPAM+」の開発を完了し、一部製品の販売を開始しております。また、臨床検査情報システムの新バージョンとなるCLINILAN GL-3の開発を推進し、ファーストユーザーへの導入準備を進めております。同時にコア技術である電解質センサーの品質・性能強化及び海外規制に対応した開発を推進しております。さらに、顧客志向の開発戦略を中期的な事業計画へ結びつけるための組織改革を行っております。海外展開につきましては、米国ABBOTT社へ検体検査自動化システムの一部製品の継続的な供給を開始しております。

当第3四半期累計期間の販売実績を製品系列別に表示すると、次のとおりであります。

区分	前第3四半期 累計期間		当第3四半期 累計期間		前年同期比	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
臨床検査機器システム	2,734,379	44.2	3,571,883	50.4	837,505	30.6
検体検査装置	498,338	8.1	561,104	7.9	62,765	12.6
臨床検査情報システム	1,663,958	26.9	2,264,273	32.0	600,315	36.1
検体検査自動化システム	572,082	9.2	746,507	10.5	174,425	30.5
臨床検査試薬	1,758,645	28.4	1,793,392	25.3	34,746	2.0
消耗品	1,246,470	20.1	1,343,149	19.0	96,679	7.8
その他	450,850	7.3	372,529	5.3	△78,321	△17.4
合計	6,190,344	100.0	7,080,953	100.0	890,609	14.4

①臨床検査機器システム

臨床検査機器システムにつきましては、検体検査装置のOEM販売が堅調に推移いたしました。また、臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの新規案件が増加したこと等により、売上高は3,571,883千円（前年同期比30.6%増）となりました。

②臨床検査試薬

臨床検査試薬につきましては、OEM販売が堅調に推移したこと等により、売上高は1,793,392千円（同2.0%増）となりました。

③消耗品

消耗品につきましては、OEM販売が堅調に推移し、売上高は1,343,149千円（同7.8%増）となりました。

④その他

その他につきましては、臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの国内大型案件に付随する他社製品の販売が減少し、売上高は372,529千円（同17.4%減）となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は7,080,953千円（同14.4%増）となりました。利益面につきましては、上記の増収効果及び原価低減の取り組み等により、売上総利益は3,387,828千円（同14.2%増）となりました。販売費及び一般管理費につきましては、主に研究開発部門における投資案件の見極め、業務委託の削減等により抑制に努めてまいりました。その結果、営業利益は772,788千円（同90.9%増）、経常利益は756,628千円（同95.2%増）となりました。また、四半期純利益は、当社の関係会社である東軟安徳医療科技有限公司の出資金について、第1四半期累計期間において特別損失として、関係会社出資金評価損31,125千円を計上した結果、490,001千円（同91.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ413,156千円減少し、9,295,293千円となりました。流動資産は同299,851千円の減少、固定資産は同113,304千円の減少となりました。流動資産の減少の主な要因は、債権の回収が進んだことにより現金及び預金が721,678千円増加した一方、受取手形及び売掛金が1,458,108千円減少したことによるものです。固定資産の減少の主な要因は、関係会社出資金が評価減により118,221千円減少したことと、それに伴い投資損失引当金を目的取崩したことによるものです。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ810,040千円減少し、3,925,678千円となりました。流動負債は同270,641千円の減少、固定負債は同539,398千円の減少となりました。流動負債の減少の主な要因は、短期借入金が300,000千円、賞与引当金が290,951千円増加した一方、支払手形及び買掛金が511,757千円、製品保証引当金が88,078千円減少したことによるものです。固定負債の減少の主な要因は、1年内返済予定の長期借入金を短期借入金へ振替えたことによるものです。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ396,883千円増加し、5,369,614千円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の業績予想につきましては、当第3四半期における業績は概ね計画の範囲内で推移していることから、前回（平成27年7月30日発表「業績予想の修正に関するお知らせ」）の業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	735,873	1,457,551
受取手形及び売掛金	4,381,347	2,923,239
商品及び製品	412,469	560,280
仕掛品	277,881	546,139
原材料及び貯蔵品	529,451	506,887
その他	291,969	333,585
貸倒引当金	△4,381	△2,923
流動資産合計	6,624,612	6,324,761
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	641,958	602,730
土地	1,356,626	1,356,626
その他（純額）	269,901	237,891
有形固定資産合計	2,268,485	2,197,248
無形固定資産	132,131	113,828
投資その他の資産		
関係会社出資金	377,956	259,735
その他	392,358	399,720
投資損失引当金	△87,095	—
投資その他の資産合計	683,219	659,456
固定資産合計	3,083,836	2,970,532
資産合計	9,708,449	9,295,293
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,555,202	1,043,445
短期借入金	1,160,000	1,460,000
未払法人税等	60,860	199,563
製品保証引当金	132,809	44,731
賞与引当金	6,579	297,530
その他	837,910	437,450
流動負債合計	3,753,361	3,482,720
固定負債		
長期借入金	940,000	400,000
資産除去債務	5,772	5,829
その他	36,583	37,129
固定負債合計	982,356	442,958
負債合計	4,735,718	3,925,678

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	577,610	577,610
資本剰余金	554,549	554,549
利益剰余金	3,813,112	4,203,004
自己株式	△561	△594
株主資本合計	4,944,711	5,334,569
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,019	35,045
評価・換算差額等合計	28,019	35,045
純資産合計	4,972,731	5,369,614
負債純資産合計	9,708,449	9,295,293

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）	当第3四半期累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）
売上高	6,190,344	7,080,953
売上原価	3,224,148	3,693,125
売上総利益	2,966,195	3,387,828
販売費及び一般管理費	2,561,430	2,615,039
営業利益	404,765	772,788
営業外収益		
受取利息	29	30
受取配当金	687	687
受取保険金	1,213	—
保険事務手数料	740	722
助成金収入	630	538
その他	1,900	615
営業外収益合計	5,201	2,594
営業外費用		
支払利息	19,665	14,843
その他	2,762	3,911
営業外費用合計	22,428	18,755
経常利益	387,538	756,628
特別損失		
関係会社出資金評価損	—	31,125
特別損失合計	—	31,125
税引前四半期純利益	387,538	725,502
法人税等	131,125	235,501
四半期純利益	256,413	490,001

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業形態は、主として臨床検査に関する製品及びサービスを顧客に提供する単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。